

御前山ビオトープ通信

平成24年5月27日

第37号

発行：御前山ダム環境センター
 編集：NPO「美しい田園21」清野
 メール：denen21@hb.tp1.jp
 ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>



目次

- 1 ビオトープ田んぼの田植
- 2 昆虫博士の自然講座
- 3 県自然博物館企画展視察旅行

【案内図】



1 ビオトープ田んぼの田植

毎年恒例の御前山小学校5年生による田植えが5月22日(火)にビオトープ田んぼで行われました。

前日から雨天が心配されましたが、何とか持ちこたえそうな雰囲気、小雨決行としました。当日は早朝から地元松山集落の皆さんが田植の準備をしてくれて、9時頃に御前山小の児童20数名が校長先生などの誘導でバスと徒歩でビオトープに到着しました。幸いまだ雨は降っていませんでしたので、主催者挨拶や説明のあとに早速田植を始めました。

何人かは田植の経験もあるようでしたが、ほとんどは初めて、3枚の田んぼ毎に3班に別れて松山集落の皆さんの手とり足とりの指導で元気に田植を行いました。今年も市役所、地元御前山集落や国営事業所の川田所長はじめとして関係機関からも大勢参加し、子供達と一緒に楽しい田植となりました。

里山の田んぼに子供達の歓声が響く中、1時間ほどで無事田植を終了しました。



開会挨拶と説明



国営所長も子供達と一緒に田植

2 昆虫博士の自然講座

小学生の田植えが終わる頃、御前山中学校の1年生約30人もビオトープに到着して、一緒に自然観察会を行いました。

講師は昆虫研究家でヒヌマイトトンボの発見者でもある県環境アドバイザーの「廣瀬誠先生」にお願いしました。前回のボランティア作業で改築したばかりの階段教室を活用して、御前山ビオトープ周辺に生息するトンボ



昆虫博士「廣瀬先生」の講義

の種類と特徴、トンボと田んぼの関係などについて説明がありました。途中で雨脚が強くなってきたことから、近くの松山公民館に移動してスライドを活用して廣瀬先生が撮影した写真を上映しながらお話を聞きました。御前山周辺に特徴的に生息する希少種としてムカシトンボ、オゼイトトンボ、サラサヤンマ、マイコアカネなど、またトンボに寄生するキノコ的一种である冬虫夏草も大変貴重なも

